

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No. 46
平成29年8月1日発行

まごが一番
“ほっ”とひといき



特集 どうなる保険料は？

- 6月定例会で決まったこと ……P4
- 審議結果 ……P8
- 市長の行政報告 ……P9
- 一般質問に6議員 ……P10
- 委員会レポート ……P13
- 9月定例会の予定 ……P15
- 市民の談話室・編集後記 ……P16

道の駅とよとみ「スイートコーン収穫祭」

保険料は？

国保に対する議会からの質疑

Q 統一に向けての準備は順調？ スケジュールは？

A 現在、県と市町村で具体的な課題について協議を重ねています。市町村の国民健康保険連携会議や、県と市町村の代表によるワーキンググループも随時開催されています。連携会議では運営方針案について、変更後の財政見通しや保険料(税)の標準的な算定方法、医療費の適正化に対する取り組み事項等に関して詳細な説明がありました。市でも準備を適正に進めており、平成28年度からシステム改修を行い準備に取り組んでいます。

Q 中央市では所得に応じて2割・5割・7割の保険税軽減措置があるが、広域化された場合はどうなる？

A 軽減措置は広域化とは関係なく、市の条例に基づき行っています。制度改正後も中央市では引き続き、所得に応じた軽減措置を実施します。

Q 現在、保険税の算定方式は居住用資産などの収益性の無い土地・建物にも賦課する資産割を含めた4方式が採用されている。他市町村では資産割を除いた所得割(※1)・均等割(※2)・平等割(※3)の3方式にしている所もあるが、**広域化後も中央市の4方式は変わらないの？**

※1…各世帯の加入者の前年所得に応じて計算されます。

※2…所得や年齢に関係なく、加入者一人あたりに計算されます。

※3…一世帯あたりに計算されます。

A 広域化に伴い、算定方式は資産割を除いた3方式に基本的には統一される予定です。

Q 既に大阪府や青森県など、いくつかの他府県では標準保険料(税)率の仮試算が公表されている。山梨県ではいつ公表されるの？

A 山梨県に確認したところ、平成29年11月ごろに試算ができて、平成30年1月に市町村ごとに公表される予定です。県の動向を注視していきます。

特集 どうなる

平成30年4月より、国民健康保険制度が変わります。

今まで各市町村が運営してきた国民健康保険（※以下、国保）ですが、今後は県が財政運営の責任主体となり各市町村が統一的な方針に沿って広域的に運営されていきます。

なぜ広域化が必要？

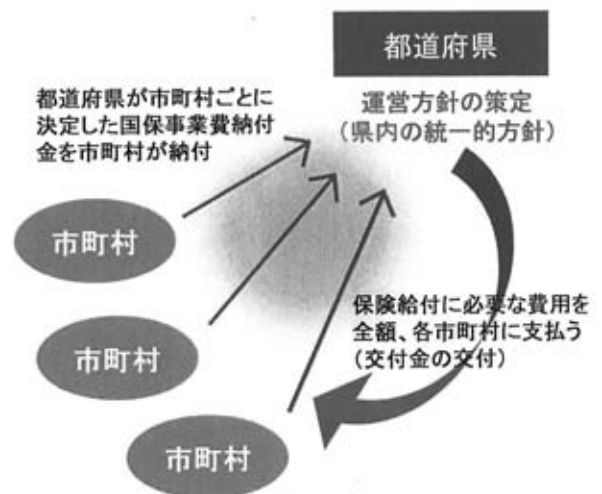
この10年で70歳以上の高齢者は**1.3倍**に、国民医療費も**1.3倍**に増加しました。

20年前の**1995年**には**27兆円**だった国民医療費ですが、高齢化や医学・医療の進歩、新技術の導入など、多くの要因によって**2015年**には**42兆3,000億円**という数字に膨れ上がっています。更に**10年後の2025年**には**61兆8,000億円**に上る見込みです。既に国保は「年齢構成が高く医療費水準が高い」・「所得水準が低く運営主体の負担が重い」・「財政が不安定になるリスクの高い運営主体や、既に財政赤字の運営主体が多く存在する」といった問題を抱えています。

そこで、制度の見直しを図られ、国からの公費拡充や、今まで各市町村による運営から都道府県を中心とする運営に変わること、持続可能で安定的な運営ができる医療保険制度の構築を目指すことになりました。

なにが変わるの？

- 今までは各市町村が個々に保険給付費を推計する中で保険料負担額を独自に決定し運営されてきましたが、制度改正後からは、市町村は県が示す標準保険料（税）等を参考に必要な保険料（税）率を決定、賦課・徴収します。
- 県は市町村ごとの標準的な保険料（税）率を公表（住民負担の見える化）し、市町村間の負担額の比較ができるようになります。
- 県は市町村ごとの医療費水準や所得水準に基づき決定した運営に必要な経費を納付させ、保険の給付に必要な費用を全額、交付金として各市町村に対して支払います。
- 県が主体となって、統一的な方針を定め各市町村が行う事務の効率化・標準化・広域化を推進します。
- 広域化により、県内他市町村への引越しをしても同一世帯と認められれば、高額療養費の限度額支払回数リセットされず、経済的負担が軽減されます。



国保広域化のイメージ

（※資格や保険料（税）等の身近な手続き窓口は、引き続き住んでいる市町村で行います）

軽減措置拡大

6月定例会は6月1日から6月16日までの16日間の会期で開催され、市長提案の条例関係8案件、補正予算5案件、報告関係4案件、また請願1件を審議しました。

平成29年度一般会計補正予算

2億1,876万円を増額
総額130億9,676万円に

※数字は1号補正(専決処分)と2号補正を集約したものです。

おもな内容

総務費

- 増設庁舎へ新たに移設するサーバ室の設計委託料 1,239万円

民生費

- 地域密着型介護老人福祉施設の開設に向けた準備や整備に対する補助金 1億4,184万円

農林水産業費

- 土地改良施設等基盤整備事業工事請負費等 2,152万円

教育費

- 田富図書館への下水道接続工事に対する請負費など 225万円
- 新規事業「トレイルランニング」の実行委員会に対する補助金 100万円



トレイルランニングのイメージ
(ゆずの里「絶景ラン&ウォーク」大会の様子)

平成29年度特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
下水道事業特別会計	▲161万円	13億4,329万円
田富よし原処理センター事業特別会計	313万円	8,570万円

独自の保育料

おもな条例改正

- 一部世帯の保育料について**負担額**の**上限**が**引き下げ**られました。
また、保育料について**負担額**の**軽減措置**が**拡大**されます。

(特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の改正)

法律施行令の一部改正などにより、所得に応じた一部世帯の保育料負担額の上限が引き下げられました。また、市民税非課税世帯における第2子以降の保育料無料化や、所得に応じた一部世帯(ひとり親世帯)などへの保育料負担額の軽減措置拡大など、子育て支援が拡充します。

その他、所得に応じた一部世帯の3号認定(保育を必要とする3歳未満児)を受けた第2子について、県の制度では満3歳に到達した翌月から2号認定へ移行し無料化から外れますが、**中央市では独自の子育て支援策として、満3歳到達以降もその年度中は無料化を継続させることになりました。**

- 下水道の使用料**が**平成30年5月**から**値上がり**します。

(下水道使用料条例の改正)

健全かつ安定的な下水道事業の運営のため、平成30年5月の検針(一部地域を除く)から、下水道の使用料が下記のとおり改訂になります。

公共下水道使用料

- 10m³までの基本料金(1カ月当たり)
……800円⇒900円
- 使用量による超過水量料金(1m³あたりの料金)
 - ・10m³超～30m³まで ……100円⇒110円
 - ・30m³超～50m³まで ……120円⇒135円
 - ・50m³超 ……140円⇒156円

討 論

【反対】

法律で規定される公共的な目的を担うことは重要で、そのために公費を充てることは当然。今年から水道料金も値上げされ、さらなる市民負担増となる値上げは賛成できない。

【賛成】

現状、一般会計からの多額な繰入れにより成り立っている。本来は独立採算が原則。下水道を使用していない市民へも負担を迫ることは、公正公平とは言い難い。健全かつ安定的な下水道事業の運営のためには条例の改正は必要。内容も、市民生活を鑑みの中で、3段階に分けて総務省の示す単価に近づけるよう配慮もされている。

- 平成29年4月から**国民健康保険税**について**負担軽減の対象世帯**が**拡大**しました
(国民健康保険税条例の改正)

地方税法施行令の一部改正に伴い、平成29年4月より、国民健康保険税の減額対象となる所得の基準が引き上げられました。

解 説

国民健康保険税には、所得の低い人への負担を軽減するため、世帯の総所得に応じて均等割額(被保険者1名あたりの課税額)と平等割額(1世帯あたりの課税額)の7割・5割・2割を軽減する措置があります。これは住民税申告をしないと受けることができません。

平成28年度一般会計補正予算(専決処分)

2,436万円を増額
総額129億7,352万円に

おもな内容

総務費

ふるさと納税に対する返礼品のための費用	▲700万円
自治体情報セキュリティ強化対策事業の委託料等	▲1,100万円
3庁舎の光熱水費	▲545万円

民生費

保育士(臨時職員)の賃金	▲2,570万円
--------------	----------

土木費

市道玉穂中央通り線整備事業の委託料	▲510万円
-------------------	--------

諸支出金

財政調整基金積立金	1億2,450万円
-----------	-----------

報告案件

- 平成28年度予算で計上された事業のうち、**22の事業**について、関係機関との協議に想定外の日数を要していることや、国の予算成立に伴う事業など、年度内の完了が困難という理由から、平成29年度へ**繰り越し**をすることが報告されました。

(一般会計予算繰越明許・下水道事業特別会計予算明許繰越・一般会計予算継続費の逡次繰越・上水道事業会計予算繰越)

■繰り越しする主な事業は以下のとおりです。

臨時福祉給付金支給事業	3,347万円
田富玉穂大津線道路整備事業	1億4,182万円
橋梁長寿命化修繕事業	8,195万円
都市公園建設事業	3,750万円
公共下水道事業	1億2,500万円
市道田富I-6号線及び	
市道玉穂3253号線改良事業	7,071万円



整備中の田富I-6号線(東花輪駅前の北西)

請願審査

介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出を求める請願

- ・ 請願者 山梨県社会保障推進協議会 会長 飯塚 譲
- ・ 紹介議員 木下友貴

【請願事項】

厚生労働省社会保障審議会の介護保険部会で検討されている、介護保険のさらなる給付削減・負担増を図る内容が盛り込まれた介護保険制度の見直しについて、検討を中止し制度の充実を強く要望する旨の意見書を諸機関へ提出することを請願するもの。

【審査内容】

本請願は昨年12月の定例会で厚生常任委員会に付託され、継続審査となっていました。常任委員会では国の情勢を注視しつつ、5月には市の関係課から介護保険の現状と諸問題について説明を受ける勉強会を開催するなど、慎重に審議を重ねてきました。制度改正の内容について調査・研究する中で意見集約した結果、不採択とすべきものとする委員長報告が今定例会に提出されました。

報告を踏まえ、本会議において起立による採決を行い、起立少数により不採択と決定しました。

厚生常任委員会

閉会中の調査・研究報告

- ◆日時 平成29年5月26日(金)
午後1時30分～
- ◆テーマ 「介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出を求める請願」
について

委員会審議で継続審査となっている「介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出を求める請願」について、勉強会を実施しました。

今回、当局の高齢介護課長からも丁寧な説明や最新の情報等をいただき、介護保険の現状・諸問題、また検討されている介護保険制度の見直し状況について確認・検証しました。

委員からは、制度の持続性の観点からの質問や、検討されている負担増の対象者について確認がされました。



高齢介護課長から介護保険の現状説明を受けました

平成29年第2回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	中央フォーラム								公明党	日本共産党	無所属		結果			
		井口 貢	山本 国臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清	木下 友貴		山村 一	宮川 弘也	関 敦隆
専決処分	・中央市税条例中改正の件																	
	・中央市国民健康保険税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・平成28年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・平成29年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定改正	・中央市工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例制定の件																	
	・中央市個人情報保護条例及び中央市情報公開条例中改正の件																	
	・中央市印鑑条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中改正の件																	
	・中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例中改正の件																	
	・中央市下水道使用料条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
29年度予算	・平成29年度一般会計補正予算(第2号)																	
	・平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・平成29年度田富よし原処理センター事業特別会計補正予算(第1号)																	
請願審査	・介護保険の給付縮小・負担増を中止し充実を求める意見書提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	

※斜線は欠席により採決には加わっていないことを示します。

5月から10月をクールビズ期間 地球温暖化防止と節電対策に配慮し エネルギー消費量減少に取り組めます

市長の

行政報告

6月
定例会

中央市長 田中久雄

本市出身で卓球の平野美宇選手が、アジア卓球選手権で優勝しました。米国で開催の女子ワールドカップ最年少優勝や、全日本卓球選手権優勝に続く快挙に、多くの市民が喝采を送りました。



母校・田富北小でのパブリックビューイング(世界卓球選手権 準決勝)

行政報告

第2次長期総合計画

平成30年度を初年度とする第2次長期総合計画の策定に向け、作業を進めています。基本構想の素案を検討し、パブリックコメントを経て計画策定を行い、市の明るい未来を切り開く10年の道筋を描いていきます。

市庁舎整備

基本設計をもとに協議を進め、実施設計に取り組んでいます。今年12月をめどにまとめる予定で、市民の皆さまに丁寧な情報提供や広くご意見をいただき、平成31年度完成に向け進めていきます。

国民健康保険の 広域化

医療の高度化等による医療費の増加が進み、国保財政は逼迫した状況です。持続可能な医療保険制度構築のため、市町村

と都道府県が連携を密にし、国民健康保険制度の健全化に向け、県とも連携し広域化に取り組んでいきます。

リニア中央新幹線

用地取得事務の委託を、JR東海から受けた県は、本格的な用地買収を進める体制を強化し、順次買収を始めます。ルート上にある市の公共施設も方向性が見え、関係機関と連携しスピード感ある対応を行っていきます。



7月3日から始まったスーパークールビズ

Q

運転免許証の自主返納者への支援は

A

高齢者全体への支援策の中で検討

金丸 俊明 議員



運転経歴証明書の見本
(山梨県警HP掲載パンフレットより)

金丸議員 ①返納状況と「運転経歴証明書」の特典制度の周知は。
②支援事業拡大の検討は。
③返納した高齢者の足としての外出支援は。
④「自主返納サポート制度」は。

リニア交通政策課長

①22年から本年3月までに、204人が返納。ホームページ掲載、コミュニケーションページの車体への表示などで周知している。

②現行の事業推進に取り組んでいく。
③コミュニティバスの無料化、タクシー割引の優遇策を実施している。それ以外は現在のところ考えていない。
④各種割引や優遇などの特典を受けられる制度は、高齢者全体への支援策の中で検討したい。

【関連質問】

▼名執義高議員
▼田中輝美議員

Q

新設される「ふるさと公園」の活用は

防災拠点としても整備する

関 敦隆 議員

関議員

子どもの体力向上、子育て支援、自然観察の機能などを充実させた公園整備を願う。子どもの健全育成に活用できる、プレイパークのスペース確保は。

市長 リニア中央新幹線建設に伴う、田富北小学校移転により一部廃止となる、田富ふるさと公園の代替として、新たな公園整備を計画している。レクリエーション、スポ

ーツ、健康増進、文化活動、教育の場、憩いの場など、多様な需要に対応するだけでなく、防災拠点としての総合公園としたい。現在、プレイパークの整備予定はないが、市民からの機運が高まるなどの動向を踏まえ検討する。

【関連質問】

▼名執義高議員
▼小池章治議員



世田谷区にあるプレーパーク



中央市農業者会議の指導による耕作放棄地での農作業

Q 特殊詐欺を防ぐ
ボイスポリス導入は
A 効果を検証する

田中 清 議員

田中議員 特殊詐欺を音で防ぐ警察官の等身大パネル、ボイスポリスの導入は。

総務課長 地域の見守り、相談体制の整備が必要。関係機関と連携を図り、導入の必要性を検討する。

田中議員 ①農地利用最適化推進委員の活用は。②農業の中核的担い手の育成は。

農政課長 ①巡回活動、個別相談を通じて、地域農業の体制づくりに努めてもらう。

②認定農業者への育成、

Q 地域で看取る
A 連携・啓発に努める

名執 義高 議員

名執議員 ①中央市版地域包括ケアシステムの状況は。

②県地域医療構想、中北圏の現状と将来推計は。

③24時間対応型訪問介護・看護の現状は。

④看取り難民問題の解決策は。

⑤在宅医療、病院、介護施設の連携は。

⑥人材の確保は。

⑦多職種協働の状況と必要性は。

⑧死の準備教育と看取りケアは。

数 は 高度急性期 403 床、

急性期1、353床、回復期1、227床、慢性期1、161床。

③本市では参入事業所はない。

④地域で支える体制整備に引き続き努める。

⑤連携推進協議会が研修会を実施している。

⑥主に予防の観点から、地域の支え合いを図る。

⑦関わるスタッフの連絡調整、研修等に努める。

⑧市民公開講座等を通じ、啓蒙に取り組む。

【関連質問】

▼福田清美議員

市長 ①在宅医療・介護の連携、認知症施策、地域ケア会議、生活支援サービス等の4つを柱として



生涯学習館で行われた市民講座「地域で生ききる」



今年度より導入された読書手帳

Q 読書意欲を高める 取り組みは A 本市の特色を生かした 読書活動の推進を図っていく

田中 輝美 議員

田中議員 ①図書館の利用状況は。

②「読書通帳」の導入は。

教育長 ①昨年度の貸出は355、593冊。

②6月から、自書式の通帳を希望者に無料配布。

田中議員 新入学児童生徒学用品費の入学前支給は。

教育長 中学生は新年度から前向きに検討。

田中議員 ①発達障がい早期発見のための5歳児健診は。

②保健・福祉・教育の窓口一本化について。

③三重県的方式を参考に、

保育園との連携・研修は。

市長 ①「子ども健康支援事業」で、3歳児健診から継続的に観察・支援している。

②本市では、すでに連携

▼ 関 敦隆議員

▼ 名執義高議員

体制が実現している。

③県と連携し、関係者のスキルアップを図る。

【関連質問】

A Q

田富総合会館は

玉穂との統合も視野に入れ検討

木下 友貴 議員

木下議員 ①総合会館統合の経過は。

②それぞれの施設は。

事業納付金・標準税率の公表に向け分析を行っている段階。

②困窮者には折衝の上、分納や執行停止を実施。

管財課長 ①27年度に他施設との複合化が、28年度に老朽化・耐震性等の課題が示された。統合を視野に入れ検討する。

②敷地内各施設についても併せて検討していく。

木下議員 ①国保広域化へ向けて、事業費納付金など県からの試算は。

②経済的に苦しい世帯に対する執行停止措置は。

保険課長 ①現在、県は

木下議員 ①地上設置型太陽光パネルの現状は。

②改正FIT法への見解と対応について。

環境課長 ①28年12月現在、10kw以上293件、総容量8、294kw。トラブルは雑草繁茂が1件。

②市では景観条例を基に助言・指導を行っている。



統合も検討される田富総合会館

今後は県において新たなガイドラインの策定や県市町村連絡協議会が設置され、指導体制を構築する。

【関連質問】

▼ 田中健夫議員

▼ 福田清美議員

総務教育常任委員会

審査ポイント 新規事業のトレイルランニングについて

専決処分の承認を求めめる件
〔平成28年度一般会計補正予算〕

〈政策秘書課〉

問 ふるさと納税の寄附額に対する返礼品の価格を3割以内にするよう総務省から通達があったが、本市の状況は。
答 本市では返礼品の価格を3割以下に抑えている。総務省より調査があったが、指導はなかった。

〈管財課〉

問 3庁舎の維持管理事業費が減額となった要因は。
答 主に玉穂・豊富庁舎は平成28年7月より新電力会社に切り替えた。電気料金が下がった事による減額。

平成29年度一般会計補正予算
〔政策秘書課〕

問 以前、将来的なレンタルサーバ化や災害時等を考慮したデータの他県管理について検討する旨の答弁があった。検討結果は。

答 基幹系メインサーバは平成29年度にクラウド化し、県

外で管理する方向。その他の内部情報系などは、まだレンタルサーバ化の検討はない。

問 空き家バンクについて、今後の取り組みは。

答 今年3月からHPに掲載現在の登録件数は2件。広くPRして多くの登録を目指している。

〈生涯総務課〉

問 生涯スポーツ事業のトレイルランについて詳しい説明を。

答 今年度は10月15日に300人程度の規模でプレ大会を開催する予定。応募はインターネットを活用する。ロングコース21km、ショートコース10kmの2コースを計画。

問 市のPRのために何を売り出すか。企画力が非常に大事だと思うが。

答 専門業者と協議・検討していくが、県外の幅広い層を招き、市の活性化を図るイベントにしたい。地元自治会や市内団体・企業に協力を依頼し、ブース販売や休憩所での飲食物の提供も行う予定。

厚生常任委員会

審査ポイント 保育士の確保は

専決処分の承認を求めめる件
〔国民健康保険条例の改正〕

〈保険課〉

問 改正による保険税の軽減対象世帯数増加の見込みは。
答 軽減世帯数は、前年度比較で5割軽減は11世帯増の589世帯、2割軽減は10世帯増の525世帯を見込んでいる。

専決処分の承認を求めめる件
〔平成28年度一般会計補正予算〕

〈子育て支援課〉

問 保育園管理事業に関して、臨時職員を募集したが集まらなかったという。要因と対策は。

答 甲府圏域内の他市における臨時職員の保育士の処遇を鑑み、賃金のベースアップを行い、切れ目なく募集している。各園で歩調を合わせた運営から、魅力や特色のある独自の保育園づくりへ運営を転換し、PRすることで、応募保育士や潜在保育士にもアピールをしていきたい。

印鑑条例の改正

〈市民課〉

問 コンビニ交付の利用状況は。
答 平成28年4月からの1年間で印鑑登録証明書は220件、住民票謄抄本は262件、戸籍謄抄本は27件、戸籍附票の写しは9件、計518件。

平成29年度一般会計補正予算

〈環境課〉

問 塵芥し尿処理事業150万円増額の内容は。

答 田富庁舎のリサイクルステーションを庁舎東側の車庫棟の中へ移設するためのもの。

〈健康推進課〉

問 歳入について国庫補助金103万5千円増額の説明を。
答 産婦検診の補助金。平成29年7月から始まるが、当初予算編成時には国の方針が確定していなかったため、一般会計上した。産婦検診および新生児聴覚検診に207人を見込んでいます。

産業土木常任委員会

審査ポイント 下水道使用料値上げの必要性は

下水道使用料条例の改正

〈下水道課〉

問 値上げの必要性について、市民に分かりやすいよう詳細説明を。

答 総務省が示す水量1m³あたりの平均使用料単価は150円で、中央市は概ね111円。このままでは汚水処理に係る一般会計からの繰り入れが3億1,100万円程度必要。このため下水道審議会からの答申に基づき、市民生活を鑑みの中で平成30年・33年・36年度の3回に分けて値上げを行い、総務省の示す単価に近づける。

問 料金改定により収入が年間約3,500万円増えるという事だが、老朽管の改善計画は。

答 まずは市街化区域内の認可区域の整備を優先的に進め、耐震化等を考慮するなかで老朽管の対処を考えていく。

平成29年度一般会計補正予算

〈農政課〉

問 法人に対するワイン用ブドウ農場の誘致場所について説明を。

答 基本的には耕作地だが3分の1程度は耕作放棄地も含まれる。周辺地権者にアンケート調査を実施、後継者不在により継続管理が困難という回答が半数程度あり誘致を進めた。

問 企業からの要望があれば同様の誘致が増えるのか。

答 地区によって実状が異なる。まずは地域農家による農業が大前提。後継者不在の場合、集約化して農業法人など地域の担い手に誘導する。それもできない場合は企業へ斡旋するという流れで進める。

〈商工観光課〉

問 北茨城市のお祭りでは中央市の何をPRするのか。

答 観光パンフレットや、その時期の特産であるトマトを持参しPRを行う。

庁舎整備特別委員会

庁舎整備特別委員会では、庁舎整備室担当者よりパブリックコメントを反映させた増設庁舎建築基本設計の概要版や概算費用、敷地外駐車場整備の概要などの説明を受けました。特に、新たに公表された洪水浸水想定区域の見直しの結果を踏まえ、委員からは安全面や機能確保については多くの意見・質問が出されました。整備計画では浸水等に備えた対策をとるとのことです。



増改築される田富庁舎のイメージ
(※デザイン等は今後変更することがあります。)

リニア中央新幹線対策特別委員会

リニア中央新幹線対策特別委員会では、パブリックコメントを経て策定されたリニア活用基本構想が示されました。また、市内各沿線自治体とJR東海との協議の進捗状況や、JR東海から示された環状線とリニアに挟まれた土地への対応等についても確認されました。

表彰

全国市議会議長会および山梨県市議会議長会より表彰されました。
各議員におかれましては、市政発展に尽くされ、その功績が認められたものです。

全国市議会議長会表彰

議員20年表彰	田中一臣議員
議員15年表彰	山村 一議員
議員10年表彰	伊藤公夫議員
	名執義高議員
感謝状(評議員)	名執義高議員

山梨県市議会議長会表彰

議長表彰	名執義高議員
副議長表彰	宮川弘也議員
議員15年表彰	山本国臣議員
議員10年表彰	宮川弘也議員
	伊藤公夫議員
	名執義高議員
感謝状(議長)	名執義高議員
感謝状(副議長)	宮川弘也議員

平成29年9月定例会の予定

9月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

1日(金) 午前10時	開 会	14日(木) 午前9時30分	産業土木常任委員会
5日(火) 午前9時30分	総務教育常任委員会	15日(金) 午前9時30分	産業土木常任委員会
6日(水) 午前9時30分	総務教育常任委員会	19日(火) 午前10時	一般質問
8日(金) 午前9時30分	厚生常任委員会	20日(水) 午前10時	一般質問
11日(月) 午前9時30分	厚生常任委員会	22日(金) 午前10時	閉 会

※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。
詳細はHP等でもお知らせします。

※議会情報のHPもご覧ください。 http://www.city.chuo.yamanashi.jp/gyosei/gikai_info.php

●議会は誰でも傍聴できます。(傍聴席36席)

なお、本会議は田富庁舎1階ロビーでテレビ放映します。お気軽に、傍聴においでください。

議会だよりの表紙写真を大募集!!

今年度のテーマは
「アットホーム」です!

あなたの写真で
表紙をいって下さい!

宛
先

〒409-3892

中央市白井阿原301-1

中央市議会事務局

e-mail: gikai-boshu@city.chuo.yamanashi.jp



※詳細は議会情報のHPをご覧ください。

http://www.city.chuo.yamanashi.jp/gyosei/gikai_info.php





市民の談話室



白井阿原第2
馬場喜美男



地域に貢献

「水門の開け方を教わり…。力を入れてハンドルを回す…。」大変な作業を任されて初めて自治会の責任ある役を受けたのは、現役を退いて2年ほど経ってからである。現役の時は仕事一筋。でも地元には協力をしていたつもりだったが、分からない事ばかりで恥ずかしい思いである。

地域の先輩から話を聞いたり、仲間と意見を出し合ったり、各世代との交流の機会も増えている。地域を見つめることが、これからの私の生き方にも影響を与えてくれることだろう。

私ももうすぐ高齢者の仲間入り。「支えられる高齢者」だけでなく、「支える高齢者」へと変化することが求められる時代である。これを機に、どんどん地元・地域の行事等に参加していきたい。そして、おこがましいが地域の活性化に少しでも貢献できるよう、また「地域社会の担い手」として、過ごしていきたいと思う。

そんなことを思いつつ、先日の自治会河川清掃時、見回りのための自転車を漕ぐ足にいつもより力が入った。



木原
本間 英治



中央市に移住して

今年の3月末に36年間勤めた会社を定年で退職し、妻の実家がある中央市(旧豊富村)に鎌倉市から移住してきました。

退職の際に職場の仲間に移住の話をする、卓球の平野美宇選手の出身地であることや、リニアの話題に加え、甘くて美味しいスイートコーンの生産地であること、全国規模の洋菓子メーカーの本社のことなどが周囲の口からいとも簡単に出てきたことには正直驚かされ、また少し誇りにも思えました。

しかし、地域の不耕作地や空き家を目にすると、中央市にもまた高齢化の波が早いペースで押し寄せていることが実感できます。

すぐに解決策は見つからないでしょうが、都会では見られない、今までこの地域で培われてきた連帯感と互助の精神が意味を持つのではないのでしょうか。

今年から周囲の協力を得ながら、妻の実家の母と自分たちで消費する米作りに挑戦します。秋の成果を楽しみにしています。

編集後記

48年ぶりの快挙。中央市が誇る卓球界のホープ平野美宇さん。飛び抜けた才能と素晴らしい勝負強さが、世界に「ふるさと中央市」の名を響き渡らせました。激しいラリーに懸命に食らい付き、世界で勝負している17歳の乙女の姿にただただ感動の連続です。平野選手の精神から学び、私たち議員も、1回1回の議会運営を大切にしながら、市民の皆さまの「お声」を届け、実りある議会にしていきたいと考えています。これからも平野選手のような人材を続々と排出して

いけるようなまちにしていくことが私たち議員の役目です。そんな思いを巡らせ、世界選手権の舞台上で戦っている姿をテレビで見ながら「編集後記」を書いています。

[田中 清]

議会広報
編集委員会

委員長 田中 清
副委員長 木下 友貴
委員 渡辺 亨 小池 章治
名執 義高 福田 清美